

“ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	12	事業名	しずおか型部活動推進事業費
------	----	-----	---------------

1 基本情報

実施日／班名	10月13日 第3班	時間	11:20～12:19
担当課名	教育委員会学校教育課	事業費	19,900千円

2 判定結果

結果	県民評価者 判定内訳(人)			
県の関与必要 (現行・拡充)	判定区分	県の関与不要	2	
		県の関与必要	見直し・縮小	12
			現行・拡充	20
	判定理由	結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）		
		事業内容を充実し事業費を増額すべき		11
現行どおり実施すべき		9		

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p>【県の関与不要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動については本当に自発的な活動になっているのか。受けている生徒がどのように思っているのかが肝心。学校側の自己満足になっているのではないか。 <p>【県の関与必要（見直し・縮小）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縮小ではなく見直し、検証が必要（競技力向上なのか、部活動維持なのか。公平性などの説明をもう少しわかりやすく）。 ・全ての学生に部活動の意義を定着させる狙いを見直すべき。 ・この派遣事業は、義務教育においてのみ行うべきものだと思う。 ・少子化も進むため、部活動は減らす傾向のほうがよい。スポーツの部活ばかりに力を入れるのはいかがなものか。部活に参加したくない者、文化部にいる者にも目を向けてほしい。 ・基本的には外部(スポーツクラブ等)に担ってもらう。派遣は私立校も視野に入れる。 ・要望する部活に係る人たちがいる程度費用負担を負い、公共性を高めていく。 ・一流を見せることによる生徒、指導者の向上を図ることは良いことと思う。 ・部活動を見る顧問の先生方は部活動に対してどう考えているのか、具体的な話がほしかった。部活動が教育の一環と考えるのであれば、先生方の能力向上を先に図る方がいい。 ・エキスパートが教員を教えることはできないのか。教員はもっと部活動に対して勉強すべきではないか。子どもが小さい頃は先生がしっかりと指導していたが、この頃はエキスパートを頼りすぎてないか。

- ・他の学校にもエキスパートの派遣が必要ではないか、見直して欲しいと思う。
- ・部活運営のため、人数が不足していることを言いたいように聞こえた。民間委託、ボランティアの募集などの対応をしても良いのではないか。
- ・学習指導要領の部活動の意義を読むと現在の部活動が適切かどうか見直す必要があると思う。選手養成に走っているところもあるようですが、何でも学校でやろうという考え方は変えたいと思う。
- ・競技スポーツ(選手育成)を専門的にやりたければ社会体育(クラブ等)、社会教育に参加したらいいと思う。受け皿を広げていく努力が必要ではないか。
- ・大学生や定年する方をボランティアとして派遣すればよい。
- ・成果目標が明確でない。

【県の関与必要（現行・拡充）】

- ・部活の意義についてもう一度見直すべきでは。何のために派遣するのか、本質を考える。
- ・しずおか型部活動は継続して欲しい。エキスパートだけでなく、指導者不足解消のために、外部コーチの活用を幅広く進めて欲しい。また、部活指導力や意欲をもった教員の採用もとても大切だと思う。
- ・子どもたちの部活での達成感や充実感はより高い成果に裏付けされることが多いと思う。顧問の先生の指導レベルが低い気がする。
- ・市町と県の連携により、中学校へのエキスパートの派遣強化も視野に入れていくと成果指標の結果も上がるのでは。
- ・確かに自分の子どもの部活動の経験から、先生の指導によって子どものモチベーションも違う事がありました。
- ・野球部では私立が専門の先生(コーチ)を呼んでいるので確かに強い。公立も是非予算でエキスパートを派遣してほしい。
- ・中高連携による運動部指導経験の浅い部活顧問の研修等を、年1回ではなく回数増やしていくべき。
- ・県単独ではなく、市町村や関係団体、県民等の協力をあおぐ事も必要だと思う。
- ・教員でなくてもしっかりした指導者はいる。その人たちの協力を得て子ども達が有意義な学校生活を過ごせるのは、子どもにとって大きな財産となる。
- ・ニュース等でも部活動事故等が報道されている。適切な指導者が必要。
- ・私学、県立の子ども達みんなにエキスパートを見せてあげて、向上してもらいたい。学べる人と学べない人がいるのはおかしいと思う。
- ・外部指導者に父兄会がお礼をしている所が多いと聞いた。保護者の負担なく、安心して見守る事ができるように増額すべき。
- ・学生が学校生活において部活動に占める時間はとても大きく大切である。強くなりたい、上手くなりたいと誰もが思い、練習している。多忙な教師に任せるのではなく、外部指導者を多く配置してほしい。
- ・部活動は必要、現行どおり実施すべき。私学が今回検討されていないのは何故か。
- ・教員の部活指導にかかる時間が多く、本来の教材研究の時間、生徒に向き合う時間の確保のため外部指導者等の派遣員を増加すべき。問題点として、外部指導者が学校の求める部活動をどう理解しているか整合性を十分とっていく必要がある。(研修会等を実施しているが成果はどうか)
- ・部活動は教科以外の人間形成(協調他)に必要である。
- ・外部の指導者が必要というのは理解できるが、学校名を高める事をも含めているのでは。又、学校においてどの部活動にも平均的に力を入れているのか疑問に思う。派遣を要望する学校にはどのように対応しているのか。
- ・ある中学校では柔道部がないので、学区外に通学していると聞いた。高校は子ども達が選んで受験するが、義務教育の中学校に部が平均していないのはおかしいと思う。

- ・生徒の感想では、指導者によりレベルが高くなり、保護者の声にも共感が出来た。息子の学校は部活は一部のみ、娘はどの部も盛んと、学校の主旨によるものだと思感！私学にはないのか。
- ・教員の資質による部活体制が理解できたが、教員の免許は教科だけでよいのか。
- ・県立校と私学への意識の違いはおかしいと思う。
- ・現行のまま実施すべきと思う。部活動は学生の健全育成のためにも必要で、また学生の自信をつけるためにもある程度レベルの高い活動をすることは大切だと思う。また専門委員の意見にもあったが、部活動の数に対して派遣数が少ないというのは確かにあると思うので、事業費を増やすなどしてさらなる拡充を図ってもいいのではないかな。
- ・専門性のある指導者を派遣することは重要。是非続けてほしい。
- ・静岡県は音楽についてはかなりレベルが高いと思うが、スポーツに関しては全国的に低いと思う。様々な全国スポーツ大会で上位をしめて県民の意識を高めるため、指導者派遣、指導者養成は大切だと思う。
- ・定年退職された元顧問を再雇用する。再雇用するため、教職員の給与の削減と同校の同部の戦力が低下しない。専門指導者が指導することにより怪我が減ることと技術が向上する。やる気のない教職員顧問より、やる気のある外部指導者の方が絶対的に効力がある。
- ・専門顧問がいないため、どうしてもその部活動を行いたいため、わざわざ遠くの学校に通学している。外部指導者がいれば部活動が再開されるので、外部指導者派遣はもっと必要だと考える。
- ・部活動とクラブチームへの選手登録の問題がある。
- ・外部指導者を派遣してほしいと学校側からどれだけ要望があったか。
- ・予算がないからと言って部活動を廃止して、クラブチームへの意見もあるが、強ければよいのか、勝てば何をやってもよいのか、学校教育の観点から「しつけ」「礼儀」も教えてほしい。
- ・私立にも外部指導者を派遣してほしい。
- ・私立には基本的に出さないというのは、同じ教育行政として考えたときに、その線の引き方はどうかと思う。ただ管轄が別の課でやっているだけ。私の母校も私立だが、職員が退職して、部活動が統廃合のリストに上がってしまう状況。外部指導者を私立に派遣してもらえば部活はなくならなくて済む。人数が集まらなくてやむを得ず廃部、休部になるのは当然だが、顧問がいないという理由であれば、派遣してもらえれば、その学校の部活はつぶれなくて済むので、私立にも少し目を向けてもらいたい。学校側からどれだけ要望が上がってきているのか。県西部の県立高校の教員、父兄から3校くらい要望があるのが現状。県教委では距離が離れているので把握されていないと思うが、現状を把握して適材適所に予算を使って、拡充してほしい。
- ・専門委員から指摘があった部分として、当初どれぐらいの実態把握や分析をされて事業を立ち上げたのか分かりにくい。全体としてはいいと思うが、なぜそこに目をつけたのかよくわからない。学校によって環境が違うので、部活が強い高校もあればそうでない高校もある。そもそもバランスが取れていないという気がする。当初企画したときの状況の数字を出してもらえると考えやすい。今の議論を聴いていると、専門委員の方が指摘をしてそれに明確な答えができていない構図だけを見せられているという感じがするので、結局はこの議論を聞こうが聞かまいが、同じような答えが出てしまうという印象を感じている。